

学年・教科	第2学年	数 学	担当者 長谷川 諒典
<b>学習目標</b> 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、①数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化、数学的に解釈、数学的に表現・処理する能力、②数学を活用して、論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力、数学的に表現する力、③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、生活や学習に生かそうとする態度や問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身につける。			
<b>指導計画</b>		<b>学 習 内 容</b>	
<b>1章 式の計算</b> 1節 式の計算 2節 文字式の利用 <b>2章 連立方程式</b> 1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用 <b>3章 一次関数</b> 1節 一次関数とグラフ 2節 一次関数と方程式 3節 一次関数の利用		1 学 期	○1学期は数と式に関わる内容を学習します。 1章：中1で学習した「文字の式」を発展させて、簡単な単項式、多項式の計算方法、具体的な場面を文字式で表して問題解決する方法を学びます。 2章：中1の「(一次)方程式」の学習をもとに、文字が2つ、式も2つの「連立方程式」について学び、その計算方法や活用方法について学習します。
<b>4章 図形の調べ方</b> 1節 平行と合同 2節 証明 <b>5章 図形の性質と証明</b> 1節 三角形 2節 四角形 <b>6章 場合の数と確率</b> 1節 場合の数と確率 <b>7章 箱ひげ図とデータの活用</b> 1節 箱ひげ図			2 学 期
		3 学 期	○3学期は主に統計に関わる内容を学習します。 6章：不確定な事象をとらえる「確率」について、場合の数を基にした確率の求め方を学びます。また、確率を用いて不確定な事象を説明します。 7章：複数のデータを比較し、データの傾向を読み取るツールとして「箱ひげ図」を学び、箱ひげ図を活用して問題解決を図ります。
<b>観点別評価の観点と主な方法について</b> ○ <b>知識・技能</b> ：定期テスト（知識・技能）の問題，授業の様子や課題，ワーク等での様子等 ○ <b>思考・判断・表現</b> ：定期テスト（思考・判断・表現の問題），授業や課題での数学的活動への取り組み方 等 ○ <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ：課題(ワークやプリント等)の提出や取り組み方(くり返し学習の状況)，授業への取り組み方，単元学習後や定期テスト後の振り返りプリント 等			
<b>学習のアドバイス</b> 中1までに学習した内容をさらに発展させた内容を多く学びます。これまでに学んだことをしっかり理解できるようにしましょう。 数学は「考え方」を大切にする教科です。また、基礎基本事項を定着させるためには演習量も重要です。プリントやワークなどでくり返し問題に取り組む「積み重ね」が大事になります。知っていること・今できることがどのように使えるか、また考えたことを式や図、文章で書き表したり、伝えたりすることができるようになると考える力を伸ばすことができます。			
<b>使用教材</b> ・教科書 ・問題集			